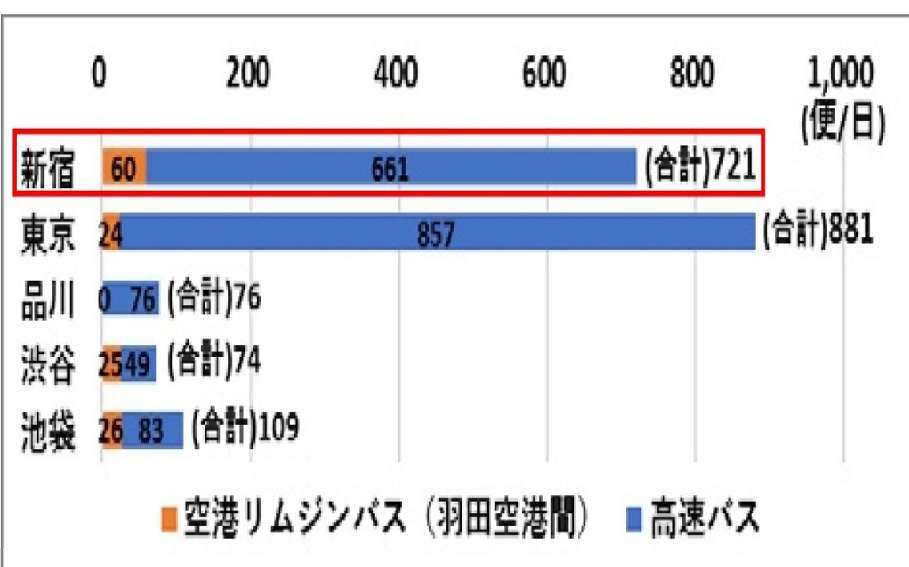
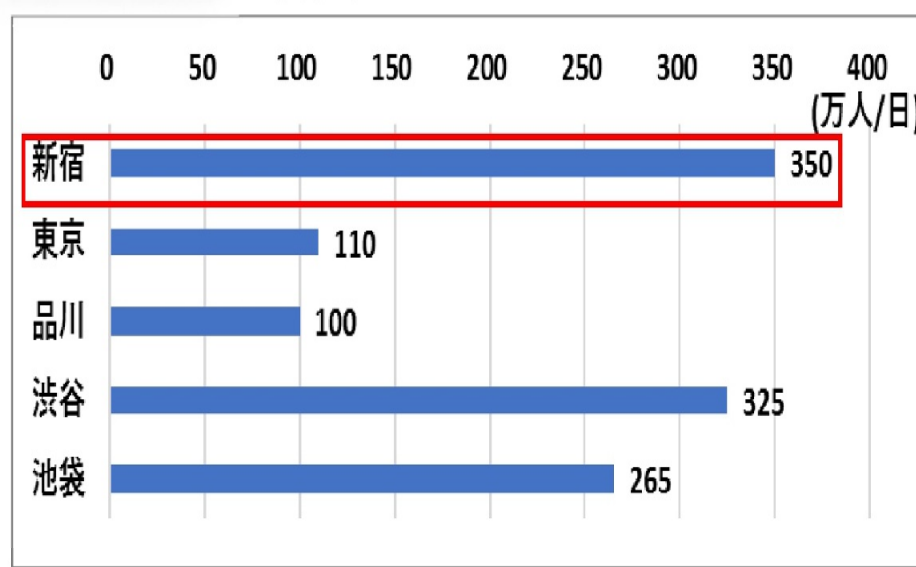


新宿グランドターミナルの一体的な再編の計画

【ターミナルの特性】 世界一の乗降客数を誇る圧倒的な交通利便性

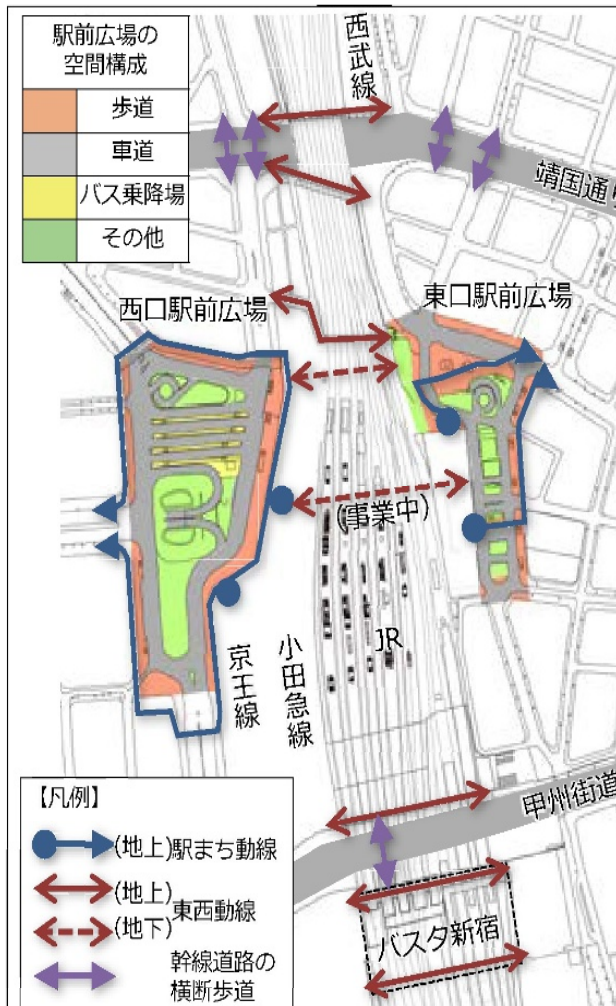
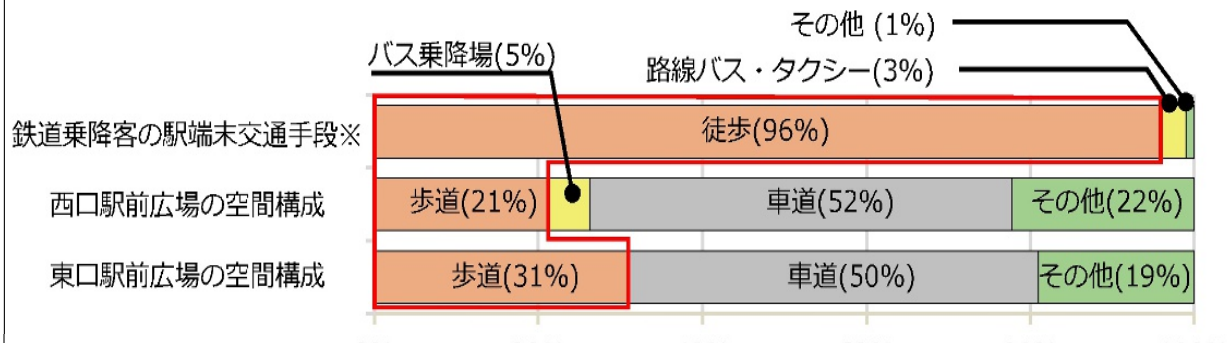
圧倒的な 交通利便性

- 7路線8駅が結節し、多摩地域を中心に広範な利用圏域を有する
- 都心の各拠点と乗換えなしで20分以内にアクセス可能
- 首都高速中央環状線やバスタ新宿の整備により、羽田空港や人気観光地へのアクセス性が向上



【ターミナルの課題】

- △駅施設・駅ビルの老朽化
- △駅構造が複雑でわかりにくい
 - ・乗換経路は駅ビルの敷地単位で継ぎ足されているため、複雑でバリアが多い
 - ・歩行者流動が局所的に集中・交錯
 - ・駅の入口がわかりにくい
- △鉄道や幹線道路、駅前広場を横断できる空間が不足しているため、駅とまち、まちとまちの間に移動しにくい
- △駅前広場は自動車中心の空間構成となっており、膨大な歩行者が滞留できる空間が不足



【まちづくりの方向性】

- ①世界一のターミナルにふさわしい機能の充実・強化
 - ・築50年以上が経過した駅ビルの建替を契機として、複数の駅と駅前広場も含めて一体的に整備することで、国際交流都市の玄関口としてふさわしい整備を行う
- ②駅とまち、まちとまちの回遊性向上
 - ・新宿に訪れる誰もが自由に行き交うことができ、活動しやすい歩行者空間を創出する
- ③国際競争力の強化に資する機能の導入
 - ・国際ビジネス交流ゾーンを形成する中核的な拠点の一角として、来訪者の多さや多様な機能の集積を生かし、世界から投資や消費を生み出す、国際水準の環境整備や新たな魅力を発信し続ける機能の導入を誘導する
- ④周辺地域への展開
 - ・ターミナルの再編を契機として、周辺のまちづくりを進め、新宿のまち全体の機能更新を促進する

新宿の拠点再整備方針の位置付け

新宿駅周辺地域まちづくりガイドライン
(2016年3月 新宿区)

【将来像】
世界に注目され、誰もが自由に行き交う国際集客都市
～世界と日本をつなぐ快進都市へ～

2040年代の東京の都市像とその実現に
向けた道筋について 答申
(2016年9月 東京都都市計画審議会)

2040年代を見据えた東京の目指すべき都市構造の
イメージと地域像

新宿の新たなまちづくり～2040年代の新宿の拠点づくり～ (2017年6月 東京都・新宿区)

長期的・広域的な視点から新宿駅周辺地域が果たすべき役割とまちの将来像
将来像実現に向けた地域全体のまちづくりの方向性

～「交流・連携・挑戦」が生まれる人中心のまちへ～
(1) 車中心のまちから人中心のまちへ (2) 多様な都市機能が近接し、連携するまち

新宿の拠点再整備検討委員会
における検討 (2017年6月～)

都市づくりのグランドデザイン
(2017年9月 東京都)

国際ビジネス交流ゾーン：
・世界中から人材、資本、情報が集まる、国際的な中核業務機能が高度に集積した中核的な拠点が複数形成されている。
・高密度な道路・交通ネットワークを生かし、国際的なビジネス・交流機能の強化と持続的な更新を図る。
・国際的に高い水準を持つ緑豊かな都市環境が整備されている。



新宿の拠点再整備方針 ～新宿グランドターミナルの一体的な再編～

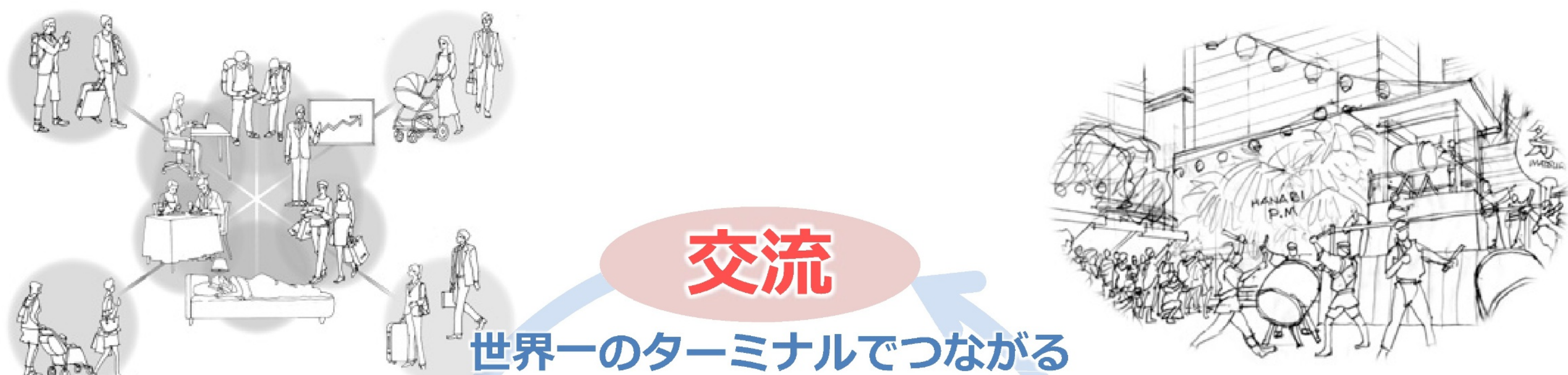
新宿の拠点再整備検討委員会における検討を踏まえて整備の方針を取りまとめたものであり、今後、行政及び鉄道事業者が連携して取り組む具体的な整備内容を示すもの

新宿グランドターミナルのコンセプト

Shinjuku Grand Terminal

新宿グランドターミナル

駅、駅前広場、駅ビル等が有機的に一体化した次世代のターミナル
誰にとっても優しい空間がまちとつながり、
様々な目的を持って訪れる人々の多様な活動にあふれ、
交流・連携・挑戦が生まれる場所



交流

世界一のターミナルでつながる

世界一の乗降客数を誇るターミナルが多様な魅力的なまちの結節点となり、異業種、異文化の垣根を越えて無限の交流を生み出す

新宿 グランドターミナル

連携

常に新しい何かに触れ合える

新宿に集まり、新宿を行き交う多種多様な「人・文化・情報・技術」の接触が融合を生み、連携することにより、国内外から新宿を訪れる人々の活動の場が次々に広がる

挑戦

ビジネスも、カルチャーも、観光も
更に魅力的に、多くのニーズに応える

交流と連携が進む環境の中で
新たな価値やアイデアを発見した人々によって
イノベーションの源泉となる挑戦の場を通じて
最新の商品やサービス、文化が持続的に生み出される



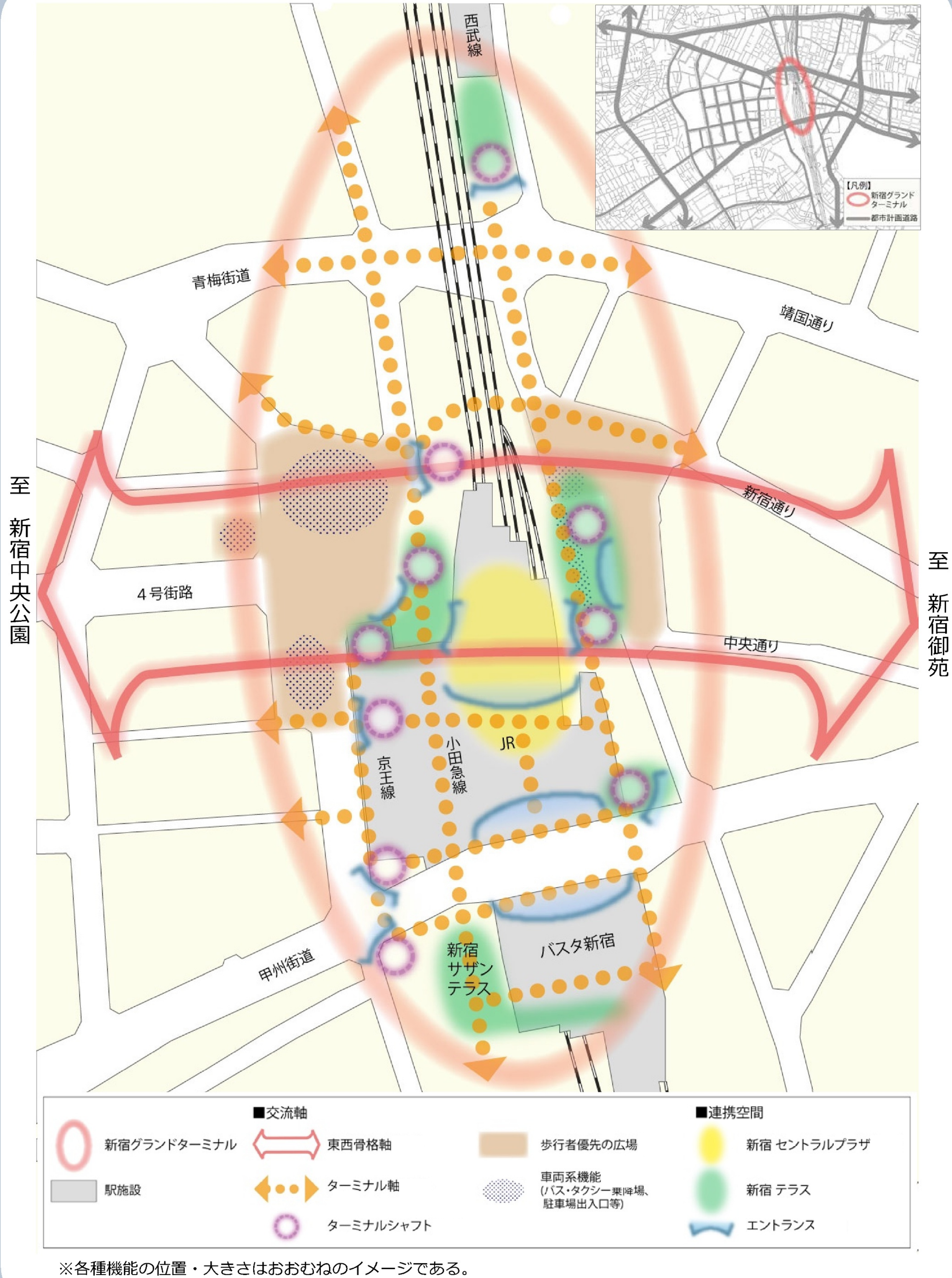
今後のまちづくり

本方針で位置付けた内容について、今後着実に実現を目指していく一方で、2040年代を迎えるまでの間には、人工知能や自動運転技術、環境技術、情報通信技術など、様々な技術の進展や実用化が急速に進み、都市に求められる機能・空間が変化していくことも予想されます。

今後のまちづくりでは、こうした日々進化する技術を、常に積極的かつ柔軟に取り入れ、より利便性が高く時代をリードしていく、人中心の豊かなまちを継続して目指していきます。

出典：新宿の拠点再整備方針 ～新宿グランドターミナルの一体的な再編～
(H30年(2018)年3月、東京都・新宿区) すべて引用 一部抜粋変更

グランドターミナルの再編イメージ



交流軸の構築

方針
1

グランドターミナルとまちを「東西骨格軸」でつなぐ

- I. 東西のまちをつなぐデッキを線路上空に新設
- II. 東西骨格軸となる道路を歩行者優先の空間に再編

方針
2

グランドターミナルを一体化して整える

- I. グランドターミナルを一体化するターミナル軸を構築し、まちとつなぐ
- II. グランドターミナルの人の流れを整える
- III. わかりやすく人に優しいグランドターミナルに整える

方針
3

人中心の広場とまちに変える

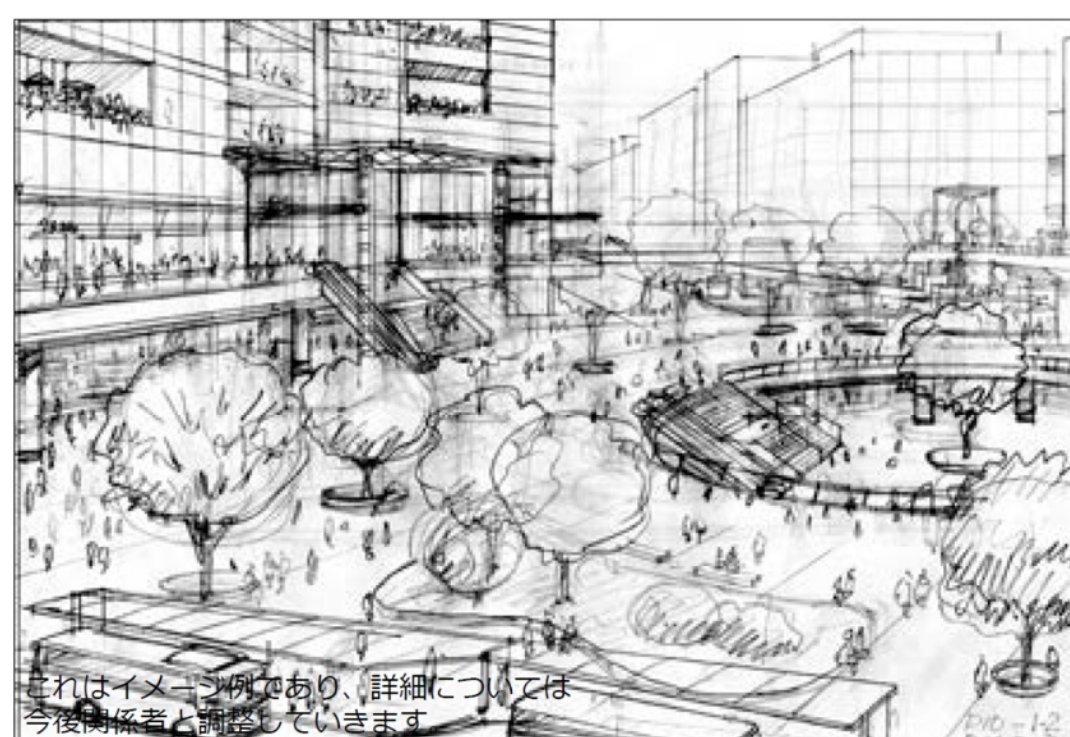
- I. 歩行者優先の駅前広場に再構成
- II. グランドターミナルへの車両流入を抑制

I. 歩行者優先の駅前広場に再構成

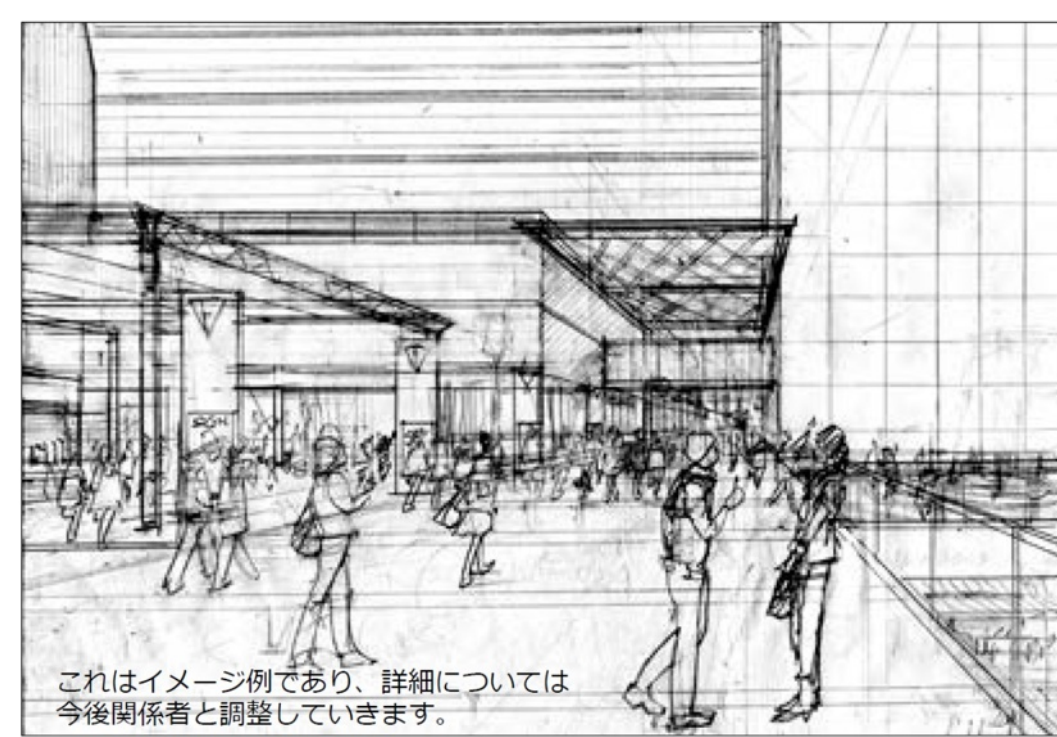
- ・東西駅前広場の車両系機能を再配置して歩行者空間を拡大
- ・東西骨格軸上に歩行者が滞留できる空間を創出
- ・駅前広場に接続する道路を歩行者優先の空間に再編

II. グランドターミナルへの車両流入を抑制

- ・駅前広場内の駐車場の出入口を移設し、駅前広場に流出入する車両動線を再構成
- ・都市計画駐車場の台数を利用実態に即して見直し
- ・都市計画駐車場相互やそれに隣接する建物の駐車場をネットワーク化
- ・路上荷さばきの抑制のため、共同荷さばき場を確保
- ・自転車流入の抑制に向けた駐輪場の再配置



▲歩行者優先の駅前広場のイメージ (西口)



▲線路上空の東西デッキのイメージ